

〈病院〉

病院は忙しくて少し慌ただしいイメージがあったが落ち着いていた。患者さんが安心して入院、通院できる環境作りもすごく重要なことだと思った。患者さんに投与するものは必ず二人以上で確認し合い慎重に行っているところを見て、自分も緊張した。たくさんの人の手によって命が保たれていることを実感した。こどもセンターでは病気をもっているとは思えないくらい元気な子もいて、一緒に遊んでくれて嬉しかったけど、点滴の管などが繋がれているのを見ると心苦しかった。この子たちに身体も元気になってほしいと思った。(Hさん)

このインターンシップに参加するまで、体力さえあればどうにかなるかな、なんて考えていました。しかしそれは全く違っていました。もちろん体力も大切な仕事ですが、それ以上に大切だと思ったのは患者さんとの信頼関係です。入院される方はいままでの入院歴に関係なく少なからず不安を持っていると思います。入院生活の中でおそらく担当医よりも看護師の方が接する機会が多いはずです。看護師とのちょっとしたコミュニケーションが患者さんの不安を取り除いていると感じました。ただ医師から言われたことをこなすだけだと思っていた私にとっては印象に残るものとなりました。(Nさん)

看護師さんと一緒にベッドメイキングをして体力が大切なのだと改めて感じました。また、患者さんの声かけや気持ちを考えて行っている姿も見ることができました。手術室に入った時テレビで見たのと自分の目で見たのでは感覚が違うのだと思いました。小学生からの夢である看護師になる為に今は勉強して今回の経験を生かして尊敬される看護師になりたいです。(Mさん)

初めて参加したので緊張しましたが、明るい雰囲気のある病院で看護師さんが優しく接してくれたので、リラックスすることができました。実際に看護師さんについて病棟をまわり、患者さんの体を拭いたり、頭を洗ったりなどのお手伝いをさせて頂きました。最初は患者さんに対してどういう風に接すれば良いか戸惑いましたが、2日目3日目になるにつれて患者さんとコミュニケーションをとることができました。(Kさん)

〈スポーツセンター〉

今回いろいろな教室に参加させてもらったのですが、その時に共通して思った事がその先生たちは技術だけでなく、人と接するコミュニケーションの取り方が上手で、人前で話す力がすごいなと感心しました。私もいつかそういう先生になりたいので、まずは元気に挨拶するなど小さな事から意識して生活してみたいと思います。(Iさん)

〈図書館〉

今回インターンシップを通じて司書の仕事を改めて知ることができました。返却では、返ってきた本を手続きするだけでなく、その本を配架しやすいように児童本と大人本に分け、さらに絵本と赤ちゃん向けや、小説と専門書のように細かく分類し、他の図書館へ送る本や予約の本など、一口に返却業務といって仕事が多く両立するのがとても難しかったです。これだけたくさんの仕事がある中で、私が最も重要だと感じたのは、利用者とのコミュニケーションです。レファレンスで話を聞くことはもちろん、来て下さった時の挨拶一つ一つも図書館と利用者を結ぶ大切なものだと思います。(Kさん)

〈ホテル〉

ホテルの裏ではたくさんのことを行っているのを初めて知りました。今後はこのようなことをしてくれている人に感謝して利用したいと思います。フロントでは英語が飛び交っていて、純粋にすごいと思いました。将来、英語を使って働きたいと思っていたので、そのような現場を見ることができて、すごく為になりました。また、見るだけでなく、接客する時の立ち方からアテンドの仕方などを教えて頂き、緊張しながらも、外国人の方を接客することができて、日常では体験できないことをたくさん体験することができました。(Mさん)